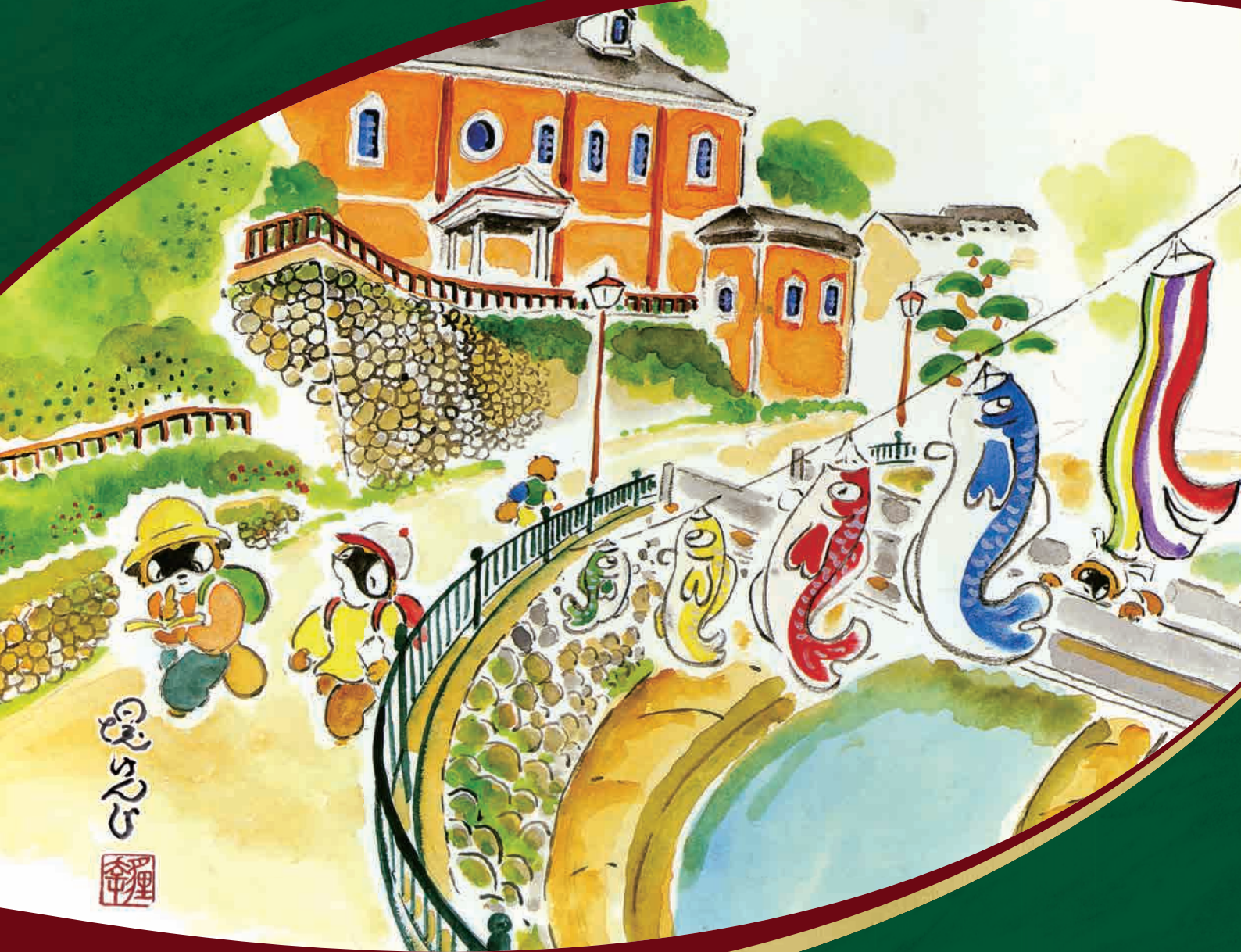


Rotary 

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **11**  
2022.5



## ガバナー 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



## 2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



### 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
会長エレクト研修セミナー (PETS) 開催報告	3
インターシティ ミーティングを終えて	4
青少年奉仕部門委員会報告	5
会員数・出席報告	7
新会員紹介・物故者	8
寄付者紹介	9
ロータリーコーディネーター NEWS	10
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

## Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー 塚崎 寛

TVを点けると、ほぼ連日のようにロシアによるウクライナ侵攻のニュースが映っている。事情はどうかであれ、ロシア武力による侵攻、軍事侵攻である。一般市民をも巻き込み、多くの死傷者が出て爆撃による建物の崩壊等を見る度に、平和呆けしている日本人には目に余る情景である。

日本国の対応としては

- ・自身の身を守るための防弾チョッキ・ヘルメットを始め、防寒服・天幕・非常用食糧・照明器具・医療用器材
- ・1億ドル規模の借款
- ・在留ウクライナ人の在留延長の許可
- ・ウクライナからの難民受入れの推進
- ・周辺国に滞在する避難民支援のための物資の支援
- ・医療・保健等の分野における人的貢献の検討
- ・種々な金融措置
- ・貿易措置

等種々な対応策を講じているが、我が2740地区としても、緊急な支援を行うにあたり、急を要する支援物（輸血用血液・飲料水・防寒具・食料等）の確保のための資金提供を最優先に行う事を条件として150万円の緊急支援を国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）へ送金した。この頃は送金先の情報がまだ錯綜していたためUNHCRが一番安全で正確な送金先であった。

これまで使用されなかった余剰なDDFは単純に積み上げられ、毎年繰り越されてきた。繰越金は毎年「グローバル補助金（GG）及び寄贈枠」の部分に、新規のグローバル補助金（GG）及び寄贈枠分と合わせて組み込まれ、グローバル補助金事業や、同奨学生、ポリオプラス等への寄付に充てられて来た。

今年度はグローバル補助金奨学生2名へ36,300ドルを拠出し、GG事業は行われなかった。しかも2021年7月1日よりWF（国際財団労働資金）に関する変更が決定されたその中の一つに、前年度から今年度に繰り越された金額、当地区は25,799,061ドルがあるが、5年以内に使用しないと自動的にWFへ充てられるようになったと言うのがある。

以上の事より、今年度グローバル補助金事業として

- ・ウクライナ緊急支援に 30,000ドル（平和構築と紛争予防に該当）
- ・ポリオプラス寄付に 30,000ドル（疾病予防と治療に該当）

を使用させて頂きたく、4月7日に行われたガバナー諮問委員会にて、諮り、了承されたので送金をさせて頂きます。

4月1日、五島市に於いて、第9・10グループ合同のインターシティー・ミーティング（IM）が行われた。福江RCがホストクラブ、長崎南RC、福江中央RC（昨年ホストクラブ）にコ・ホストクラブを務めて頂き、離島開催とは言え、138名の登録のもと、盛大に挙行された。

大会テーマは「ロータリーの過去・現在・未来」であった。

13：45開会、途中2回の休憩を挟み17：30に閉会。

PGの岩永信昭氏に基調講演をして頂いた。岩永PGは地区のインターアクト委員長、地区新世代を歴任し、新世代に関する地区のパイオニア的な逸材である。本IMにおいて「ロータリーの軌跡とこれからの展望」と言う演題にて、内容の濃い熱のこもった基調講演であった。

記念講演には、2000年5,000mの日本選手権で優勝、初マラソンの2009年名古屋国際女子マラソンで初優勝、世界選手権代表となった北松佐々町生まれ、県立諫早高校出身で資生堂を退部後は長崎県スポーツ指導専門員として母校諫早高校陸上部のコーチを務め、その後県教職員として8年間母校で勤務後、現在五島高校で勤務されている藤永佳子氏を講師としてお招きし「私と陸上競技の過去・現在・未来」と題し、自身の現役選手時代や現在の指導者としての選手の育て方等についてのお話があり、経験談を交えての興味深い内容の講演であった。

懇親会こそ中止となったものの、何せ魚や肉の旨い五島である。久々に夜の街も賑わったことであろう。

また翌日は五島CCにて晴天のなか親睦ゴルフコンペも行われた。競技方法はダブルペリア方式。優勝は長崎北RCの大串龍太氏でアウト45・イン50、グロス95、HC21.6、ネット73.4。準優勝 小林純一氏、第3位 宮本剛と長崎北RC勢の独占であった。失礼ながら地元のクラブが花を持たせたのでは？(笑)とも考えてしまった。

今回の五島でのIMは懇親会の代わりに豪華なお弁当まで用意して頂き、実行委員長の山下克己様始め、実行委員会の皆様方には大変心のこもったおもてなしをして頂き、心より感謝申し上げます。



## 会長エレクト研修セミナー（PETS）開催報告

地区副幹事（PETS・地区大会担当） **岸川 正人**  
（佐賀RC）

国際ロータリー第2740地区2022～2023年度会長エレクト研修セミナー（PETS）が上村春甫ガバナーエレクト主催、佐賀ロータリークラブ（本島直幸PETS実行委員長）がホストクラブを務め、3月13日（日曜日）開催されました。

1月中盤くらいから新型コロナのいわゆる第6波感染拡大を受けて 2月27日の地区チーム研修セミナーに引き続きZOOMを利用したオンライン開催を余儀なくされました。地区チーム研修セミナーにおいて当ガバナーエレクト事務所としてもオンライン開催は初めての経験でしたが、いくつかの反省点も踏まえて今回は打ち合わせも入念に行い会議に臨みました。

第2740地区56クラブの会長エレクトがZOOM参加され、田島広一PETS副実行委員長の司会により以下のプログラムで開催しました。

1. 塚崎寛ガバナー挨拶、2. 花島光喜次年度地区研修リーダー（直前ガバナー）挨拶、3. 上村春甫ガバナーエレクト挨拶及び「次年度地区目標と行動指針」、4. 野口清パストガバナー「クラブ会長の役割」、5. 各グループガバナー補佐所信表明、6. 山下雄司地区幹事「次年度地区運営について」、7. 大曲清一郎地区会計長「次年度地区会計について」、8. 緒方信行ガバナーノミニ講評

以上のプログラムを滞りなく進行し、終了いたしました。

今回オンライン開催という形式で、ご参加いただいた皆様も戸惑われたことと思いますが十分研修の役割を全うできたものと存じます。ご理解、ご協力いただいた出席者の皆様、ご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

それにしても残念だったのは参加された皆様とじかにお会いして親睦を深める懇親会ができなかったことです。一刻も早くコロナ感染が終息し、今後の地区行事が通常の形態で開催できることを切に祈念いたします。



## インターシティ ミーティングを終えて

第9グループ ガバナー補佐 張本 民雄

(福江RC)

令和4年4月2日(土)、国際ロータリー 第2740地区 第9・第10グループ IM(インターシティ ミーティング)が、五島市のカンパーナホテルで福江ロータリークラブがホストクラブとなって、コロナ禍の中無事に開催されました。

振り返ると、今回のIM開催は、とても判断が難しいものでした。

コロナ禍で例会休会が続く中、実行委員会の会議がなかなか開けず、又、最終決定ができず、先の光が見えない状況でした。

本会議自体は、オンラインを使えば、色々な方法で実施が可能ですが、やはりIMは、ロータリーを学ぶと共に、メインはグループ内の会員間の親睦にあるので、何とかして例年通りのプログラムで実施できないか？悩みました。

グループ内の会員各位には2月初旬に案内状を送りましたが、準備を進めながらも新型コロナウイルスのまん延防止措置法がどうなるのか？それにより最終的に決定することに致しました。

そして、新しい大石長崎県知事のもと、県のまん延防止措置法の解除が3月2日に発表され、一応の所は、対面方式でのIMの実施は可能となりましたが、懇親会をどうするか？の問題はこの時点では解決出来ませんでした。

しかし、3月15日が、ホテルの食事のキャンセル期限と言うことで、関係者が集まって協議、結局、五島市内で陽性者が散発的ではあれ、発生している中での団体での飲食は難しいとの判断に至り、五島の幸・山海の珍味のお食事をお包みしてお渡しするという苦渋の決断に至りました。

懇親会が中止となれば、長崎市内からの欠席者も増えるだろうとの予測もありましたが、結果的には少し増加に転じ、懇親会が無くなった事で、参加しようと思われた方もいたのでは無いかと推察できました。何はともあれ、ロータリアンの友愛精神に感謝するばかりです。

今回のIMは、飛沫防止の為、講演形式で執り行うこととし、基調講演を岩永信昭パストガバナーに依頼しました。

岩永パストガバナーは、勤務医として五島に在住した経験もあり、福江ロータリークラブとのご縁も多く、適任者としてご相談申し上げ快諾を頂きました。

講演内容は、今回のテーマが「ロータリーの過去・現在・未来」でしたので、演題を、「ロータリーの軌跡とこれからの展望」と題してお話頂きました。

終わった後の質疑応答も活発に行われ、IMへの真剣な姿勢に感動致しました。

又、記念講演には複数の候補者が挙がりましたが、最終的に、長崎が生んだ陸上界のスーパースター・藤永佳子先生が、今、長崎県立五島高等学校に赴任して来ている、との話になり、学校を通じてご相談申し上げました所、快くお引き受け下さいました。

演題は、テーマにちなんで「私と陸上競技の過去・現在・未来」と題してご講演頂きました。

敗北から勝利への道筋、失敗から成功するためにはどうしたら良いのか？等、ご自身の体験談から導き出された答えを惜しみなくご披露頂き、生きた教訓としてロータリアンの心にしっかりと響いた事でしょう。

又、翌日の3日(日)には「IM記念ゴルフ大会」を五島カントリークラブで開催し、36名の参加を頂きました。

天気は良かったものの春の嵐が吹き荒れ、桜吹雪が舞う中でのプレーは難しく、皆さん大変だったようですが、和気藹々と楽しい一日を過ごして頂いたようでした。

結果は、紙面の都合上省きますが、全員に参加賞が有り、その他にも五島のお魚・五島牛・五島豚を惜しみなく準備頂き、豪華賞品で皆さん大満足のご様子でした。

今回は、私がガバナー補佐で、私のクラブが偶然にもホストクラブだった事も重なり、ご無理を聞いて頂き開催することが出来ました。

福江ロータリークラブの吉田実行委員長始め、山下会長と会員の皆様方には心から感謝を申し上げます。

本当にお世話になりました。

現地総数118名、ご参加頂きまして本当に有り難うございました。



## 青少年奉仕部門委員会報告

地区ローターアクト委員長 **高松 茂信**  
(鹿島RC)

本年度も前年度同様コロナ禍により、地区行事の中止、延期を余儀なくされました。オンライン開催も行いましたが、オンラインにも限界があるようで、今のところ予定している行事達成率50%と言ったところでしょうか？

その中であって委員会にとって一番の収穫と言え、4月に認証された長崎ウエスレヤン大学ジャズアンサンブルRACの仲間入りだったように思えます。これで当地区のRAC数は実働5クラブに、会員数も30人から60人に増えました。ただ、まだまだ問題は残っており、正直活動中の5クラブを見ても活動しているクラブとそうで無いクラブの温度差が感じられ、コロナのせいと言えそれまでなのでしょうが、1月には緊急委員会を開催し、今後のアクト活動とアクト地区行事、代表者会議に至るまでのロータリアンとローターアクターの取り組み方を話し合いました。尚、この緊急委員会には窪田RA地区代表と鐘ヶ江代表エレクトも参加して頂き、色々とアドバイスを頂きました。

3月12日は長崎伊王島で第39回地区年次大会が行われ、オンライン開催ではあったものの、大成功でした。地区委員の皆様もご苦勞様でした。後6月には最後の地区行事RA一泊懇親会が控えています。最後まで気を引き締めて頑張っていけたらと思っています。



## 青少年奉仕部門委員会報告

地区国際青少年交換委員長 **樋口 征司**  
(諫早南RC)

私たち交換委員会は近々必ずこのプログラムが再開されることを信じて5名の派遣学生のオリエンテーションを毎月行っています。

2022年7月よりこのプログラムが再開されることとなりました。

コロナ禍のなかでオリエンテーションはZOOMミーティングを活用し色々な工夫をこらし、大事な書類（アプリケーションフォーム）の作成やその確認等はどうしても対面ではないと出来ないので一人ひとりの学生の時間をずらして最少人数で行いました。

難しい書類作成も5名全員出来上がり今現在はその書類を派遣国の地区に送る準備をしています。全員の派遣先は以下のとおりです。

- アメリカ（セントラルステイツ地区）2名
- アメリカ（D5440地区）1名
- オーストラリア（D9790地区）1名
- 台湾地区1名 となっています。

学生も行き先が決まりホッといていることと思います。期待と不安もあろうかと思いますが派遣先が決まり一つの目標が出来、プレゼンテーションにもより一層力が入ってくることと思います。回数を重ねる毎にプレゼンテーションもとても上手くなってきていて、次回のオリエンテーションでは30分程のプレゼンテーションが出来ることでしょう。

地区委員の皆さま方にも的確なアドバイスをして頂いており、学生はこの交換プログラムに真剣に取り組んで個々に英会話スクールや中国語のスクールに行き勉強しています。

学生全員一年間の留学生活を楽しんでもらうと共に沢山の事を学んで欲しいと願っています。

8月頃の出発になろうかと思っています。それまで地区委員全員でサポートをしっかりしていきます。



地区RYLA委員長 **相浦 封哉**  
(多久RC)

今年度より「RYLA委員会」と「新RYLA検討委員会」が統合となり、今までの手法のメリット、デメリットを考慮し、より良いRYLAの在り方を研究し、新たな指針を作り上げていく事となりました。今年度の活動については、「新RYLA」として、いかに新たなセミナーを企画・開催していくかという事について、委員会で勉強会や具体的な議論を積み重ねる一年となりました。

コロナ禍の影響で、なかなか集まる事が出来ない時期もありましたが、まず7月に塚崎ガバナー、岡田地区幹事にオブザーバー参加して頂き、第1回の委員会を開催致しました。

色々な意見、議論がある中、結論としてRYLAセミナーは今までのホストクラブによる持ち回りの手法を踏襲しながら、かつRYLA委員会とローターアクト委員会が連携し、可能であればローターアクターにセミナーの企画段階から参加して頂くという事を委員会として確認いたしました。

2回目の委員会からは、高松ローターアクト地区委員長にもご参加いただき、ローターアクトの現状や諸問題等をお伺いし、いかに連携を深めていけるかという事について話し合いを持ちました。

又、次年度、次々年度RYLAセミナーのホストクラブの選定についても、ホストクラブ未経験クラブの中から、3クラブを選定し、ガバナー事務所を通じ、しかるべき時に各クラブに打診、お願いをするとする事を確認致しました。

又、5月には全国RYLA研究会が「RYLAの真髄」というテーマで鳥取県で開催されます。

当地区からも、オンライン参加を含め、地区委員に参加して頂き、RYLAが目指す地域社会、国際社会に奉仕する青少年リーダーの養成について理解を深めたいと思います。

# 2022年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	0	0.0	71	6	77	7	0	0	0	6
	小城	0	0.0	28	4	30	4	0	0	0	2
	牛津	3	84.2	32	0	31	0	0	0	0	-1
	多久	0	0.0	40	4	36	5	0	1	-1	-2
	佐賀大和	0	0.0	26	5	27	6	0	0	0	1
	小計		16.8	197	19	201	22	0	1	-1	6
第2グループ	佐賀西	0	0.0	36	3	41	3	0	0	0	5
	佐賀北	0	0.0	44	2	45	3	0	0	0	1
	佐賀南	4	60.0	38	3	37	3	0	0	0	-1
	神埼	0	0.0	37	4	38	4	0	0	0	2
	佐賀空港	0	0.0	18	1	18	1	0	0	0	0
小計		12.0	173	13	179	14	0	0	0	7	
第3グループ	有田	0	0.0	30	2	29	2	0	0	0	-1
	武雄	0	0.0	43	2	43	2	0	0	0	0
	鹿島	0	0.0	31	3	30	3	0	0	0	-1
	嬉野	0	0.0	25	1	26	1	0	0	0	1
	大町	0	0.0	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	0	0.0	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		0.0	152	8	151	8	0	0	0	-1	
第4グループ	唐津	0	0.0	60	0	62	0	0	0	0	2
	伊万里	0	0.0	30	0	31	0	0	0	0	4
	唐津東	0	0.0	51	0	51	0	0	0	0	0
	唐津西	0	0.0	30	0	31	0	0	0	0	1
	伊万里西	0	0.0	38	1	38	1	0	0	0	0
	唐津中央	0	0.0	37	5	37	5	0	0	0	0
	小計		0.0	246	6	250	6	0	0	0	7
第5グループ	佐世保	0	0.0	74	0	75	0	0	0	0	1
	平戸	0	0.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	0	0.0	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	0	0.0	19	2	22	3	0	0	0	3
	松浦	0	0.0	24	1	27	1	0	0	0	3
小計		0.0	165	5	172	6	0	0	0	7	

\*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2021年7月1日から2022年2月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	0	0.0	56	0	56	0	0	0	0	0
	佐世保東	0	0.0	24	0	24	0	0	0	0	0
	佐世保北	4	100.0	40	2	51	3	9	0	9	14
	佐世保中央	0	0.0	46	1	46	1	0	0	0	0
	佐世保東南	0	0.0	35	0	33	0	0	1	-1	-2
	HTB佐世保	0	0.0	22	2	23	3	0	0	0	1
	小計		16.7	223	5	233	7	9	1	8	13
	第7グループ	大村	0	0.0	42	3	41	3	0	0	0
第7グループ	島原	0	0.0	28	2	29	2	0	0	0	1
	雲仙	1	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0
	大村北	0	0.0	23	1	27	1	0	0	0	4
	島原南	1	60.0	15	1	15	1	0	0	0	0
	大村東	0	0.0	34	4	34	4	0	0	0	0
	小計		26.7	147	11	151	11	0	0	0	4
第8グループ	諫早	0	0.0	72	0	72	0	0	1	-1	0
	諫早北	0	0.0	77	4	78	4	0	0	0	0
	諫早西	0	0.0	45	0	46	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	83.7	32	0	28	0	0	0	0	-4
	諫早南	2	78.1	16	8	15	8	0	1	-1	-1
	小計		32.4	242	12	239	12	0	2	-2	-3
第9グループ	長崎	0	0.0	65	0	65	0	0	1	-1	0
	福江	0	0.0	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	0	0.0	39	2	38	2	0	0	0	-1
	福江中央	0	0.0	14	0	15	0	0	0	0	1
	長崎西	0	0.0	36	1	37	1	1	0	1	1
	長崎琴海	3	55.6	7	0	7	0	0	0	0	0
	小計		9.3	194	3	195	3	1	1	0	1
第10グループ	長崎北	0	0.0	72	0	75	0	0	1	-1	3
	長崎南	0	0.0	68	0	70	0	0	0	0	2
	長崎東	0	0.0	40	1	39	1	0	0	0	-1
	長崎みなと	0	0.0	29	1	28	1	0	0	0	-1
	長崎中央	4	98.0	49	0	48	0	0	1	-1	-1
	長崎出島	0	0.0	69	11	72	10	0	0	0	3
小計		16.3	327	13	332	12	0	2	-2	5	
56クラブ合計			12.8	2,066	95	2,103	101	10	7	3	46





## 新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。  
※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます。



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

田中 一善君  
株式会社 オネスト  
取締役 総支配人



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

西頭 翔太郎君  
ウエストポートダイニング合同会社  
代表社員



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

柳詰 慎一君  
一般社団法人 笑美  
代表理事



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

長本 多聞君  
佐世保フロンティア法律事務所  
弁護士



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

隈元 佑輔君  
bar STEP  
代表



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

八並 学君  
i SOLUTION JAPAN  
代表管理者



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

八木 順平君  
(株)天津包子館  
代表取締役



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

田島 慎君  
有限会社 タジマ時計店  
代表取締役



佐世保北フレンドシップ  
ロータリー衛星クラブ

福田 隆幸君  
福田外科病院  
社会福祉士



長崎西RC

森 修司君  
東武トップツアーズ(株)  
長崎支店長



## 物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

諫早RC  
中村 慎一君  
(享年66歳)



## 寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	波 多 野 徹	長崎

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	岩 崎 邦 臣	佐世保西

ポリオ・ワンコイン BOX 報告	今月分 BOX 金額	累計金額
	16,849	1,959,969

## 5月行事予定

2022年4月20日現在

日 程	行事予定	場 所
<b>5月（青少年奉仕月間）</b>		
6日（金）	第7回日台親善会議福岡大会	ホテルニューオータニ博多
8日（日）	RLI 研修会 Part3	Zoom
9日（月）・10日（火）・ 11日（水）	ロータリー重点分野とポリオ根絶活動への支援	Zoom
21日（土）～22日（日）	第14回 RYLA 研究会	ホテルニューオータニ鳥取 & Zoom
29日（日）	国際青少年交換オリエンテーション	諫早文化会館
30日（月）	第5回ガバナー会議	グランドプリンスホテル新高輪



## 会員増強からモチベーションアップへつなげる

長い時間をかけてようやく新しい会員の入会にこぎつけて安堵したのも束の間、親しかったクラブの仲間が退会するという情報が耳に入ってやりきれない思いに…。こうした事態は達成感のカウンターのよう、高まっていたテンションを打ち砕いてしまいます。会員数だけでなく、会員の高齢化もクラブのポテンシャルをダウンさせてしまうでしょう。今では、新型コロナウイルスの連波にあわせてクラブ例会がストップしてしまい、ロータリーに対するモチベーションが損なわれて、いつの間にか寒風が吹くようになってしまったというクラブも増えているかもしれません。新型コロナウイルスと共に過ごさざるを得ない昨今、モチベーションの維持こそが緊急課題のように思えてなりません。

会員増強というテーマを数量達成のテクニックとして受け止めるだけではなく、ロータリーに対するモチベーションアップというところにつなげて考えていくということに強い関心をもってきました。ロータリーに入会しても、ロータリーの魅力や醍醐味を体感しないまま漫然とロータリーを続けている人（恥ずかしながら、かつての自分の姿です）や、ロータリーを理解するに至らないまま入会して間もなく退会してしまう人がたくさんいるということを知ると、胸を締め付けられるような気持ちになります。会員増強から在籍の定着、つまり会員維持につなげなければ何の意味もない。さらに言えば、在籍期間だけでなく、ロータリアンとしてロータリーに対する熱い思いを増幅させていかなければ、アクティブなパワーは生まれてこないし、持続可能なロータリーにはならないとも思ってしまう。

ロータリーへのモチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、研修セミナーやミーティングを通して、向上へのスイッチを入れたり学びや情報入手を習慣化するという一連性も必要だと思います。掲げた目標に対して経過や結果を放置せず、きちんと確認して次の段階に活かしていくというスタイルも強く意識しなければならないと思います。

戦略計画には、会員増強と会員維持と会員資質向上をリンクさせた総合性のあるコンテンツが必須だと思いますし、行動計画として具体的に実行していくことが次の会員増強に弾みをつけることになるかと確信しています。

### ●MISSION:POSSIBLE～私たちにできること～

会員増強にしても奉仕活動にしても、最初から否定的に考えてしまうことがあると思います。見かけ上は謙遜や謙譲といった美德のように受け止められるかもしれませんが、ロータリーにおいてはモチベーションアップになりません。プラス志向による立場や行動こそが、ロータリアンとしてのステップアップになると言い切りたいと思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則（長野RC）

## 世界ポリオデー 2022 in Japan

2年余に及ぶ新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動にも大きな変化が生まれました。ソーシャルディスタンスを保ちながら、例会、そして人道奉仕活動を継続していただきありがとうございました。

多くの皆様は、コロナワクチンの3回目のブースター接種を済まされたことと思います。政府は第4回目のワクチン接種も計画していると報じられています。改めて、ウイルスの感染防止に対して、ワクチンの重要性を再認識することになりました。ロータリーは30数年も「ポリオ根絶」に取り組んできました。

日本国内においてポリオはすでに忘れられた存在になっており、ポリオの意識は低いです。日本国内では、2012年9月から不活化ワクチン注射接種が始まりました。現在は、生後3か月から12か月の間に3回、その後追加接種で1回、合計4回の接種が行われています。日本でも毎年ワクチンを接種し続けないと海外からポリオウイルスが入ってくることによる感染リスクも考えられます。

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。

コロナを経験して、日本でも再度「ポリオ根絶」に力をいれていきたいと願っています。残り後2か国ですが、生ワクチンや不活化ワクチンの接種を継続していかなければなりません。ワクチンの代金、それを保存、運搬するクーラーなどに、まだまだ多くの費用が掛かります。皆様ご存知のように、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーの資金に対し、2倍のマッチングを行っているため、皆様のポリオプラスのご寄付が3倍になるわけです。その支援がある間にぜひ、根絶したいと思います。

国際ロータリーでも、10月24日の「世界ポリオデー」には全世界で認知度を高め、寄付を募るイベントをしています。

今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での世界ポリオデーイベントを企画、実施してポリオ根絶に挑戦したいと思います。今年は、ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）はもとより、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）の皆さんがこの世界ポリオデーのイベントを地域や日本全国にメディアを使って発信し、ロータリーの認知度やイメージの向上につなげ、そして、会員増強までつなげたいということで、ロータリーコーディネーター（RC）の皆様、さらに、恒久基金/大口寄付アドバイザー（E/MGA）、と協働して、地域リーダー全員で「世界ポリオデー」を盛り上げて行くことができたらいいなと思っています。

第2地域 RRFC 服部 良男（愛知三州RC）

# 子どものころのわが町 長崎



昭和30年代 長崎市東小島町の正覚寺正門前の風景です。  
路面電車の東側終点の一つ正覚寺電停から田上・茂木方面に向かう  
道路の近道で、バス道路の右上方を走る一方通行の狭い道です。  
現在もこの道路は存在し、その入り口付近に正覚寺があります。  
当時その正門の石段が紙芝居の恰好の観客席でした。  
写真集「長崎おもいで散歩」(真木満氏撮影)より

## 編集後記

今月に入り、例会はノーネクタイというロータリークラブも多いと思います。2005年から始まったクールビズ、基本は、ノーネクタイ、ノージャケット、半袖シャツだそうです。ついでに、ノーマスクとなればいいのですが、まだ先のようにです。

第2740地区ガバナー事務所

〒852-8003

長崎県長崎市旭町13-5 タワーシティ長崎ウエストコート201号

TEL : 095-895-5330 FAX : 095-894-5431

E-mail : ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL : <https://rotary2740.jp/>